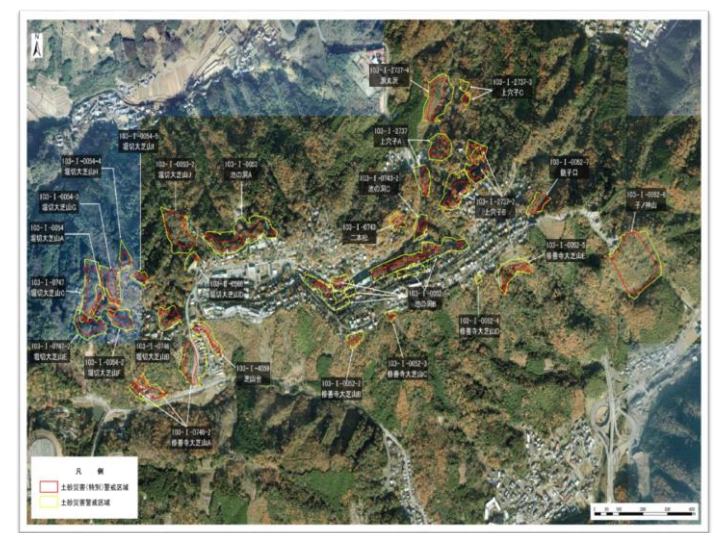
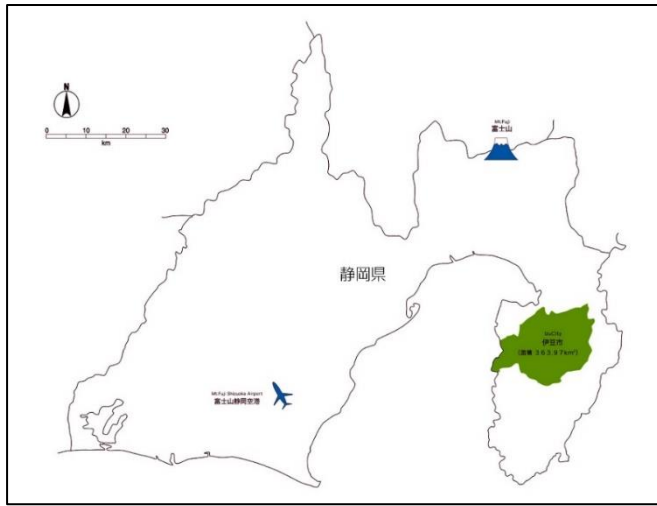


修善寺ニュータウン地区の概要

- 修善寺ニュータウン地区は伊豆市熊坂・堀切・修善寺・瓜生野の4つの行政区から成り、地区全体が第1種低層住居専用地域
- 標高80M～250Mの中山間地区になり、広さは東西約2Km・南北約1Km
- 常住約350戸(自治会加入約240戸・未加入110戸)・別荘約350戸の約700戸
- ニュータウン地区は12の地区(班?)に分かれていて、それぞれの地区から自治会役員・自主防災会防災員を出してもらっている
- 別荘地として開発された地区ではあるが、定住者の増加傾向が見受けられる。
- 伊豆と言うと温暖な場所と言うイメージがあるが、冬場には雪も降る
- 中山間地区の為、土砂災害特別警戒区域・警戒区域が30数か所策定される見込みであり、大雨の際の土砂災害の危険性がある

修善寺ニュータウン地区における高齢化率		伊豆市全体
平成27年4月1日	人口695人→65歳以上330人(高齢化率 47. 48%)	人口32、678人→65歳以上11, 658人(35. 68%)
平成26年4月1日	人口708人→65歳以上311人(高齢化率 43. 92%)	人口33, 311人→65歳以上11, 440人(34. 34%)
平成25年4月1日	人口714人→65歳以上294人(高齢化率 41. 17%)	人口33, 855人→65歳以上11, 197人(33. 07%)
ちなみにニュータウン地区の14歳以下の人口は・・・		
平成27年→38人 平成26年→42人 平成25年→45人		



平成16年、修善寺町・中伊豆町・天城湯ヶ島町・土肥町が合併し伊豆市が誕生



修善寺ニュータウン地区における地区防災計画の取組について

* 地区防災計画モデル地区応募のきっかけ

自治会加入者・未加入者の問題

自治会加入者には回覧板が回り、いろいろな情報を提供できる

未加入者には情報が伝わらない→→→防災活動・防災訓練などのお知らせが回らない

定住者と別荘滞在者の問題

定住者(自治会加入者・未加入者)はある程度の世帯情報を提供してもらっているが

別荘所有者は「どこの?」「誰か?」などの情報が無い為発災時の対応が出来るか問題

高齢化(地区内住民の半数が65歳以上になる?)の問題

これから、この地区に住もうとする方は第2の人生をここで・・・と考えて住む可能性

高齢化の中で避難行動要支援者の人数も増える可能性

高齢化を防ぐ為に、若い方々にどうしたらこの地区に住んでもらえるか

このような事から、自治会加入者だけではなく「**地区にいる方は1つ**」と考えて、定住者・別荘所有者・事業所等・・・なるべく(多くの)・(すべての)方を巻き込んで、防災づくりが出来ないものか?　　と言う事からの応募



* 計画づくりの流れ

- | | |
|---------|------------------------|
| 2015年6月 | モデル地区に採択される |
| 7月 | アドバイザーとミーティング |
| 9月 | アドバイザーによる講演会を実施 |
| 12月 | 地区住民への防災アンケート調査実施 |
| 2016年1月 | アンケート集計し、地区防災計画への反映を検討 |
| 2月 | 地区内の問題点を洗い出し |

* 現時点での問題点・課題

- ・アンケート回収率の悪さがあり「地区防災計画」作成の参考になるほどの内容だったか(350部配布88部回収、回収率25%)
- ・行政へ登録されている避難行動要支援者は、把握できるが登録の無い、まして近所づきあいの嫌いな方への対応方法
- ・災害が発生する恐れがある場合、どのように地区全体に情報発信をしていくか?
- ・初めに定住者を対象に計画作りをするが、別荘者を含めた「地区防災計画」作りは時間がかかる可能性がある

